5 インストール完了後の作業

管理ユーティリティのインストール方法、ネットワーク上のPCのセットアップ方法などインストールを完了した後に行う作業について説明しています。これらの作業は運用中にも確認が必要となる場合があります。

管理ユーティリティのインストール

添付の「EXPRESSBUILDER」DVDには、Express5800/ftサーバ監視用の「ESMPRO/ServerAgent」、およびExpress5800シリーズ管理用の「ESMPRO/ServerManager」などが収録されています。これらの管理ユーティリティをExpress5800/ftサーバ、またはExpress5800/ftサーバを管理するコンピュータ（管理PC）にインストール・セットアップしてください。

システムのアップデート

システムのアップデートは次のような場合に行います。

- システム構成を変更した場合
- システムを修復した場合
- バックアップツールを使用してシステムをリストアした場合

管理者権限のあるアカウント（Administratorなど）で、システムにログインした後、本体の光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」DVDをセットしてください。
表示されたメニュー画面の「Windowsをセットアップする」から［システムのアップデート］をクリックすると起動します。
以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

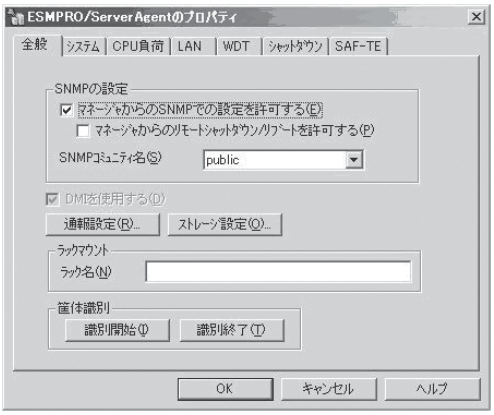
ESMPRO/ServerAgent

ESMPRO/ServerAgentは、「セットアップ」で自動的にインストールされます（ビルド・トゥ・オーダーのハードディスクドライブにも出荷時にインストール済みです）。
[スタート]メニューの[プログラム]にインストールしたユーティリティのフォルダがあることを確認してください。ここでは個別にインストールする場合の手順と注意事項を説明します。

重要 **Express5800/ftサーバを連続稼働させるには必ず必要であるためインストールされていることを確認してください。**

ESMPRO/ServerAgentの詳細な設定は[コントロールパネル]の[ＥＳＭＰＲＯ ServerAgent]アイコンをダブルクリックして表示されるプロパティダイアログボックスで変更することができます。

設定項目に関する詳細は、[ヘルプ]をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。



動作環境

ESMPRO/ServerAgentを動作させることができるハードウェア／ソフトウェア環境は次の通りです。

- **ハードウェア**
  - インストールする装置
    Express5800/ftサーバ本体
  - メモリ
    OSの動作に必要なメモリ＋30.0MB以上
  - ハードディスクドライブの空き容量
    50.0MB以上
  - モデム
    エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)機能に限り、OMRON 社製USB モデム(ME5614U2)、IO DATA DFML-560ER が利用可能です。
- **ソフトウェア**
  Windows Server 2008 R2
  Windows Server 2008
  Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition

セットアップを始める前に

インストールならびにセットアップの前に必ずお読みください。

ESMPRO/ServerAgentを動作させるためにはTCP/IPとTCP/IP関連コンポーネントのSNMPの設定が必要です。

TCP/IPの設定

TCP/IPの設定についてはスタートメニューから起動するヘルプを参照してください。

SNMPサービスの設定

<SNMPサービスのインストール>

Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2の場合

1. [コントロールパネル]の[プログラムと機能]を開く。
2. [Windowsの機能の有効化または無効化]をクリックする。
   サーバーマネージャウィンドウが表示されます。
3. [機能]をクリックする。
4. [機能の追加]をクリックする。
   Windowsの機能ウィンドウが表示されます。

5. Windowsの機能ウィンドウで、[SNMPの機能]のチェックボックスをチェックする。

6. [次へ]をクリックする。

   有効化が始まります。

Windows Server 2003 R2の場合

1. [コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]を開く。

2. [Windows コンポーネントの追加と削除]をクリックする。

3. Windows コンポーネントウィザードで[管理とモニタツール]を選択し、[詳細]をクリックする。

4. [簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)]のチェックボックスをチェックする。

5. [次へ]をクリックする。

   ファイルのコピーが始まります。

6. ファイルのコピー終了後、[完了]をクリックする。

<SNMPサービスの設定変更>

1. [コントロールパネル]の[管理ツール]をダブルクリックする。

2. [管理ツール]の[サービス]を起動する。

3. サービス一覧から[SNMP Service]を選択し、[操作]メニューの[プロパティ]を選択する。

   「SNMPのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4. .[トラップ]プロパティシートの[コミュニティ名]ボックスに[public]または任意のコミュニティ名を入力し、[追加]をクリックする。

   重要

   - **ESMPRO/ServerManager側の設定で受信するトラップのコミュニティをデフォルトの「*」から変更した場合は、ESMPRO/ServerManager側で新しく設定したコミュニティ名と同じものを入力します。**
   - **ESMPRO/ServerAgentからのトラップがESMPRO/ServerManagerに正しく受信されるためには、双方のコミュニティ名が一致する必要があります。**

5. [トラップ送信先]の[追加]をクリックし、[IPホストまたはIPXアドレス]ボックスに送信先のESMPRO/ServerManagerマシンのIPアドレスを入力後、[追加]をクリックする。

   重要

   トラップ送信先に指定されている相手ESMPRO/ServerManagerのIPアドレス(またはホスト名)をマネージャ通報(TCP/IP)の設定で指定した場合、重複していることを警告するメッセージを表示します。この設定では、指定されているIPアドレス(またはホスト名)のESMPRO/ServerManagerに、アラートが重複して通報されます。

6. [セキュリティ]プロパティシートを表示し、以下の設定をする。

- 「受け付けるコミュニティ名」に手順4で入力したコミュニティを追加
- その権利を「読み取り、作成」(「READ CREATE」)または「読み取り、書き込み」(「READ WRITE」)に設定
- 「すべてのホストからSNMPパケットを受け付ける」を選択

重要

- **手順4で「public」以外のコミュニティ名を入力した場合は、「受け付けるコミュニティ名」にもその値を追加してください。**
- **「受け付けるコミュニティ名」の権利を「読み取り、作成」(「READ CREATE」)または「読み取り、書き込み」(「READ WRITE」)以外の権利に設定すると、ESMPRO/Server Managerからの設定や監視ができなくなります。**

<特定のホストからSNMPパケットのみ受信するように設定する場合>

「これらのホストからSNMPパケットを受け付ける」を選び、パケットを受信するホストのIPアドレス、ESMPRO/ServerAgentをインストールするサーバのIPアドレス、およびループバックアドレス(127.0.0.1)を指定する。

<特定コミュニティからのSNMPパケットのみ受信するように設定する場合>

SNMPパケットを受け付けるコミュニティ名をデフォルトの「public」から任意の名前に変更する。

重要

- **コミュニティ名を変更した場合は、[コントロールパネル]からESMPRO/ServerAgentのコミュニティ変更登録を行う必要があります。コミュニティの変更登録には[全般]タブの[SNMPコミュニティ]リストボックスを使います。**
- **ESMPRO/ServerManagerからのSNMPパケットをESMPRO/ServerAgent側で正しく受信できるようにするためにはESMPRO/ServerManager側の設定の送信コミュニティ名とESMPRO/ServerAgent側のSNMPサービスが受け付けるコミュニティ名を同じにしてください。**

7. ネットワークの設定を終了する。

重要

- **ESMPRO/ServerAgentの動作にはSNMPサービスが必須です。ESMPRO/ServerAgentをインストールした後にSNMPサービスを削除してしまった場合は、SNMPサービスをインストール後、ESMPRO/ServerAgentを再インストールしてください。**
- **他社製ソフトウェアの中には、SNMPサービスの設定を変更してしまうものがあります。このようなソフトウェアがインストールされている状態で、ESMPRO/ServerAgentをインストールすると、ESMPRO/ServerAgentのサービスが正常に動作できない場合があります。**

  このような場合は、いったんSNMPサービスを削除して、SNMPサービスを再インストールしてください。その後で、ESMPRO/ServerAgentと他社製ソフトウェアを再インストールしてください。

インストール

ESMPRO/ServerAgentはExpress5800/ftサーバのインストール、または再インストールの時に同時に自動でインストールされます。
マニュアルでのインストールするときは、EXPRESSBUILDER のWindows Autorun Menuから行います。

重要

- **システムが完全に起動してからインストールを始めてください。**
- **システム起動直後にインストールを実行すると失敗する場合があります。エラーメッセージが表示された場合は、しばらく待ってから再度実行してください。**

1. Administrator権限を持つユーザでログオンする。
2. 「EXPRESSBUILDER」DVDを光ディスクドライブにセットする。

   ヒント

   本体に接続されたDVD-ROMドライブまたはLAN Managerで接続されたネットワーク上の光ディスクドライブでもかまいません(以下、これらをまとめて「光ディスクドライブ」と呼ぶ)。

   Autorun機能によりEXPRESSBUILDERのWindows Autorun Menuが自動的に表示されます。
3. [ソフトウェアをセットアップする]から[ESMPRO]をクリックする。

   ESMPROセットアップが起動し、メインメニューが表示されます。

4. ESMPROセットアップのメインメニューで[ESMPRO/ServerAgent]をクリックする。

ヒント

OSの種類に合わせて、選択できるメニューが変わります。(インストールできないものは、グレー表示になります)

重要

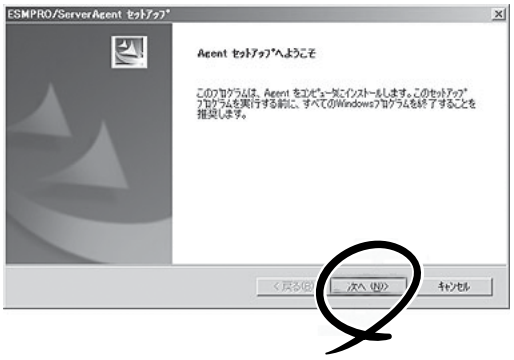
- **ダブルクリックでメニューを選択すると同じダイアログボックスを2つ表示することがあります。[終了]をクリックしてどちらか一方のダイアログボックスを閉じてください。**
- **セットアップの実行中に[キャンセル]をクリックすると、インストールを中止するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。メッセージボックスで[中止]をクリックするとインストールを中止できます(メインメニューは表示されたままです)。ただし、途中までセットアップされたファイルの削除は行われません。**
- **ESMPRO/ServerAgentがすでにインストールされている場合は「ESMPRO/ServerAgentが既にインストールされています。」というダイアログボックスが表示されます。[更新]をクリックして[次へ]をクリックすると以前のESMPRO/ServerAgentを削除し、新たにインストールし直します。**
- **インストール中にまれにWindowsインストーラがエラーとなり、セットアッププログラムの実行が失敗することがあります。失敗した場合は、保守サービス会社に連絡してください。**

5. セットアッププログラムが自動機種判断を行うので、そのまま何も操作しないで待つ。

重要

セットアッププログラムが機種を判断できなかった場合には、ESMPRO/ServerAgentのセットアップを中止します。

6. [次へ]をクリックする。



7. ESMPRO/ServerAgentのインストール先パス名を入力し、[次へ]をクリックする。

> **重要**
>
> **本バージョンのESMPRO/ServerAgentは、Windows Vista 以降でサポートされたJIS2004のフォントに対応していません。インストール先パス名の入力時にJIS2004フォントを使用しないでください。**

デフォルトではルートパーティションの¥ESMディレクトリの下にESMPRO/ServerAgentのモジュールがインストールされます。特に問題がなければ、このまま[次へ]をクリックしてください。

インストール先を変更したい場合は、[参照]をクリックして希望するインストール先のディレクトリをドライブ名を含むフルパスで指定してから[次へ]をクリックしてください。

8. インストール終了のウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックする。

インストールが終了します。インストールしたESMPRO/ServerAgentの機能はOSの再起動後に有効になります。

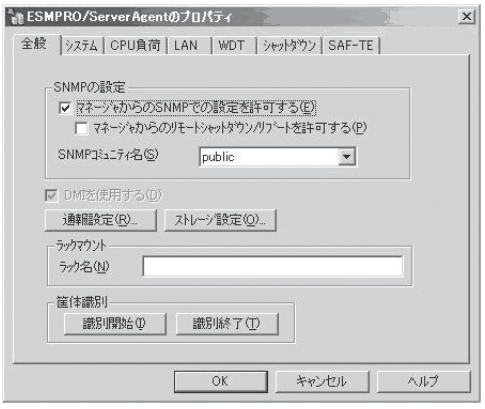
> **重要**
>
> - **ESMPRO/ServerAgentのインストール後、SNMPサービスは停止状態になっています。OSの再起動後、SNMPサービスは開始されます。**
> - **ESMPROのインストールが終了してもESMPROセットアップのメインメニューは消えません。他のダイアログボックスに隠れることがあるので注意してください。ESMPROセットアップを終了するときはメインメニューの「終了」をクリックしてください。**

インストール後の注意事項
[ESMPRO/ServerAgent インストール時のメッセージについて]
Windows Server 2008 R2/Windows 7 においてESMPRO/ServerAgent のインストールを実行すると、エクスプローラが動作を停止したとのメッセージが表示される場合があります。ただし、インストールは正常に完了しており、システムに影響はありません。

ESMPRO/ServerAgentのセットアップ

インストールされたESMPRO/ServerAgentの各種設定は出荷時の設定のままです。[スタート]から[設定]ー[コントロールパネル]をクリックして、[コントロールパネル]を開いてください。

[コントロールパネル]の[ＥＳＭＰＲＯ ServerAgent]アイコンをダブルクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックス内の各シートにある設定を使用する環境に合わせてください。セットアップをする上で注意していただきたい点や、知っておいていただきたいことがらについて、別冊のユーザーズガイドの5章の「補足説明」で説明しています。セットアップをする際や、正しく動作していないのでは？と思われたときに参照してください。



アンインストール

ESMPRO/ServerAgentのアンインストールの方法について説明します。

ESMPRO/ServerAgentのアンインストール

ESMPRO/ServerAgentのアンインストールの方法について説明します。

重要

ESMPRO/ServerAgentのアンインストールについて

- **システムが完全に起動してからアンインストールを始めてください。**
- **インストール先フォルダに「AMIRTUpt.dll」というファイルが1つだけ残る場合があります。その場合は、手動で削除してください。(AMIRTUpt.dll以外のファイルも残っている場合は削除しないでください)**
- **エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)をご利用の場合、ESMPRO/ServerAgent のアンインストールの前にエクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)を削除してください。エクスプレス通報サービスエクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)の削除方法については「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)インストレーションガイド」を参照してください。**
- **システム起動直後にアンインストールを実行すると失敗する場合があります。エラーメッセージが表示された場合は、しばらく待ってから再度実行してください。**

● EXPRESSBUILDERを使用してアンインストールする方法

1. 「インストール」を参照してESMPROセットアップのメインメニューを表示させる。
2. [ESMPRO/ServerAgent]をクリックする。

   「Agentセットアップへようこそ」というダイアログボックスが表示されます。
3. [次へ]をクリックする。

   「ESMPRO/ServerAgentが既にインストールされています」というメッセージが表示されます。
4. [削除]を選択して[次へ]をクリックする。

   以上でアンインストールされます。

● EXPRESSBUILDERを使用せずにアンインストールする方法

1. [コントロールパネル]から[プログラムと機能]([プログラムの追加と削除]または[アプリケーションの追加と削除])を起動する。
2. [ESMPRO/ServerAgent]を選択して[変更と削除](または[追加と削除])をクリックする。

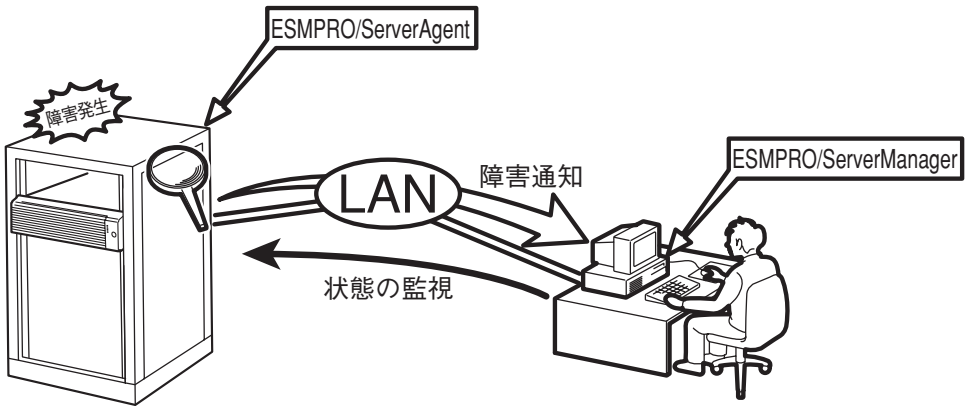
   以上でアンインストールされます。

アンインストール後の注意事項
アンインストール後、InstallShield 2008の不具合によりアンインストール後の初回再起動のみ以下のエラーメッセージが表示される場合があります。

[ESMPRO/ServerAgentアンインストール時のメッセージについて]
Windows Server 2008 R2/Windows 7においてESMPRO/ServerAgentのアンインストールを実行すると、エクスプローラが動作を停止したとのメッセージが表示される場合があります。
ただし、アンインストールは正常に完了しており、システムに影響はありません。

ESMPRO/ServerManager

Express5800/ftサーバにインストールされたESMPRO/ServerAgentと連携して、Express5800/ftサーバの状態の監視や障害通知の受信をします。



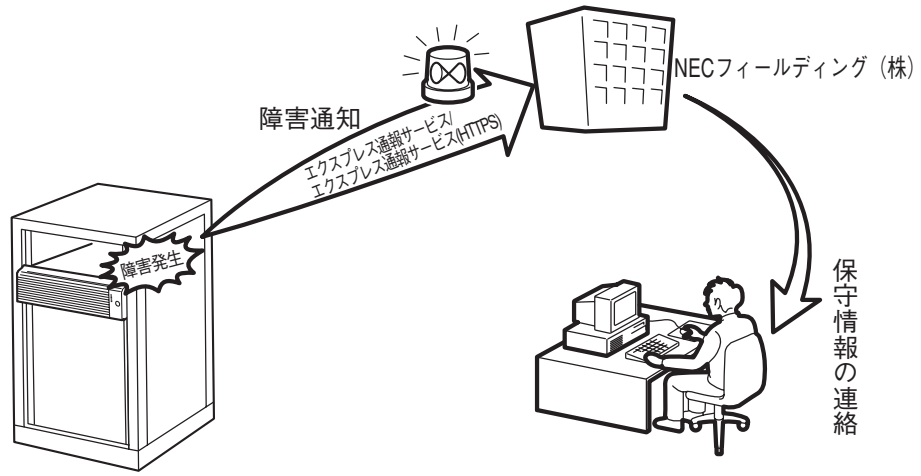
また、ESMPRO/ServerManagerはExpress5800/ftサーバ内の故障したモジュールを交換する際に本体からの論理的なモジュールの切り離しや交換後の論理的な組み込みを操作することができます。

ESMPRO/ServerManagerのインストール方法や運用上の注意事項については、添付の「EXPRESSBUILDER」DVD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerManager インストレーションガイド」を参照してください。

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(ＨＴＴＰＳ)は、お使いになるExpress5800/ftサーバを保守サービス会社が随時その状態を監視し、何らかの異常を検出したときにお客様に通報するサービスです。

ヒント ご利用には別途、保守契約が必要です。



エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)の契約を結んでいる場合は、別冊のユーザーズガイドを参照して、サービスを受けるためのセットアップをしてください。
また、エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)のインストールに関しては、インストレーションガイドを参照してください。

ft Server Control Softwareのバージョン確認方法

フォルト・トレラントを実現している各種ソフトウェアの集合であるft Server Control Softwareのバージョンを確認する方法について説明します。なお、Express5800/ftサーバに装置を増設する場合など、動作中のft Server Control Softwareのバージョンを確認する必要がある場合に実施していただくことになります。

下記の手順に従ってバージョンを確認してください。

1. 管理者(Administrator)権限のあるユーザでログインする。
2. スタートメニューからコントロールパネルを開く。
3. 「プログラムと機能」を開く。

   [プログラムと機能]のアイコンが表示されていない場合は、[プログラム]を開いて、[プログラムと機能]をクリックしてください。
4. プログラムの一覧の「ft Server Control Software」を選択して、製品バージョンの表示を確認してください。

システムドライブの圧縮について

システムドライブを圧縮するとき、ルートディレクトリとWindowsディレクトリを圧縮しないでください。(Windows Server 2008 R2のWindowsディレクトリは"Windows"です。)
圧縮された場合、Windowsファイル保護(WFP)によって、署名のないドライバが、署名ありのドライバに置き換えられる場合があり、可用性を保証できなくなります。

セキュリティパッチ・QFE 適用について

セキュリティパッチ・QFE 適用に関してft サーバ固有の制限はなく、お客様の環境に応じてパッチをご適用いただいて問題ありません。
なお、ft サーバの出荷状態に適用可能なOS のセキュリティパッチについては評価結果を統合サポートポータルに掲載していますので、パッチ適用の際の参考にしてください。

統合サポートポータルhttps://www.support.nec.co.jp/PSHome.aspx
ー トップページ
　　ー インフォメーション
　　ー イセキュリティパッチ検証情報
　　ー イセキュリティ情報(ft)の観覧はこちら

Windows サービスパック適用に関しましては、装置に添付されている場合以外はお客様の判断で適用しないでください。

サービスパックの対応一覧は統合サポートポータル(https://www.support.nec.co.jp/PSHome.aspx) にてコンテンツID3140100115「ftサーバ：ServicePack対応一覧」で公開していますので、ご参照ください。